

# RDE/RDE(Ⅱ)「生研」

本品はコレラ菌の産生したRDE(Receptor Destroying Enzyme)を含む乾燥製剤で、ミクソウイルス群の血清学的検査を行う際に、被検血清中に含まれる非特異的赤血球凝集抑制物質(インヒビター)の作用を除くために用いるものです。

## 【本質】

コレラ菌を液体培地で純培養し、産生されたRDEを含む培養液を遠心してから、上清を除菌ろ過して得た液を凍結乾燥したものです。

## 【使用目的】

血清中のインヒビターの除去

## 【操作法】

### 1. RDEの溶解

本品に滅菌生理食塩液20mLを加えて溶解します。

### 2. 被検血清のRDE処理

無菌的に血清1溶とRDE溶液3溶を加えてよく混合し、37°Cで一夜(18~20時間)作用させた後、56°C、30~60分間加温してRDEの作用を止めます。この処理血清をミクソウイルス群の血清学的検査に用います。

## 【RDEとRDE(Ⅱ)の用途】

ウイルス抗体	被検血清	RDE	RDE(Ⅱ)
インフルエンザ	ヒト	○	◎
	動物	×	◎
パラインフルエンザ	ヒト	◎	×
	動物	×	◎
ムンプス	ヒト	◎	×
	動物	×	◎

◎:最適、○:適、×:使用不可

ヒト血清でインフルエンザウイルスの検査を行う際はRDE(Ⅱ)、それ以外のウイルス検査の場合はRDEを使用してください。また、動物血清に使用する場合はRDE(Ⅱ)を使用してください。

## 【貯法・有効期間】

遮光して、2～10℃に保存してください。

有効期間は製造後1年間です。(外箱に記載の使用期限内にご使用ください。)

商品番号	品名	包装単位
340 016	RDE「生研」(凍結乾燥)	20mL分×5
340 122	RDE(Ⅱ)「生研」(凍結乾燥)	20mL分×5